



人権平和資料館だより

2010. 11

# HUMAN RIGHTS & PEACE 第 195 号

人権と平和は  
21 世紀のキーワード

〒720-0061 福山市丸之内 1-1-1  
TEL 924-6789 FAX 924-6850

[jinken-heiwa-shiryoukan@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:jinken-heiwa-shiryoukan@city.fukuyama.hiroshima.jp)



## 入館者 20 万人達成



福山市人権平和資料館は 1994 年 8 月 30 日にオープンし、この夏で開館 16 年が経過しました。この間、多くの皆様に支えられ、9 月 8 日には入館者 20 万人を達成することができました。これからも常設展示の充実はもとより、タイムリーな話題による企画展開催に努めてまいりますので、皆様のご来館をよろしくお願いいたします。

ここ数年の入館者の状況は、年間 1 万人前後を推移しています。その内訳を見ると、県外の各種団体からの見学が増えたことにより、一般入館者の割合が 6 割を超えるようになりました。また、毎年数校の中学校から、修学旅行のコースに組み込まれるようになりました。人権と平和をテーマにした当資料館の存在が、広く県内外にも認知されるようになったことを喜んでいきます。

最近「3D」が流行ですが、展示パネルにこめられた人権や平和についての思いを、「語り」を通して、見学者一人ひとりに立体的に届けていきたいと考えています。引き続き、児童・生徒の人権学習、地域の住民学習や団体研修などに積極的にご利用いただきますよう期待しております。

9 月 8 日、福山市立樹徳保育所の 5 歳児 16 名と先生 2 名の計 18 名の見学があり、入館者が 20 万人を突破しました。記念として、ささやかながら、全員にお絵かき帳をプレゼントしました。

毎年、市内の保育所・幼稚園から、たくさん子どもたちが見学にきます。命の大切さや、友だちと仲良くすることについて、真剣に考えていることが、子どもたちの様子から伝わってきます。

最近、不快感情（特に怒りの感情）の処理がうまくできず、すぐにパニックを起こしてしまう子どもの話をよく聞きます。

子どもたちの健やかな発達と心の成長には、幼い頃からの人権についての学習の積み重ねが大切であること強く感じます。



人権平和資料館 20 万人達成記念  
福山市市立樹徳保育所のみなさん

## 企画展「沖縄の歴史と文化」

～ 11月28日(日)まで、好評開催中 ～

「沖縄の歴史と文化」は、14世紀以降の「古琉球時代」から現在までの沖縄の歴史を、次のように区分して、展示しています。

### 1. 古琉球

1429年、尚巴志(しょうはし)は、琉球を統一して琉球王朝を成立させ、奄美から八重山諸島までを勢力圏として大交易時代を築き、独自の文化を発展させた。

### 2. 薩摩による琉球支配

1609年(慶長14年)、島津氏は琉球に侵攻し、首里城を陥落させた。琉球王国は「日中両属」の体面を保ちながらも、実質的には政治的にも経済的にも薩摩藩に従属する関係になり、「異国」のまま、幕藩体制に組み込まれた。



### 「琉球司楽向生碑」(福山市鞆町 小松寺)

1790年(将軍家斉の即位)、第13回の「江戸上り」の使節に楽司として加わった向道享は、琉球を7月12日に出帆し、9月6日に薩摩の川内久見崎を出て、一カ月余り後の10月3日、備後鞆沖で病死した。

翌日、鞆の小松寺に葬られたが、福山藩主阿部正倫は、鞆奉行らに命じて、追悼碑「琉球司楽向生碑」を建てさせた。

### 3. 琉球国から沖縄県へ

1879年(明治12年)、維新政府の「琉球処分」によって、琉球は明確に日本国に属する「沖縄県」になった。日清・日露戦争、徴兵令、皇民化教育、移民や出稼ぎなど、本土との交流によって、近代日本の政治・経済体制に組み込まれていった。

### 4. 米軍統治下の沖縄

1945年(昭和20年)4月、米軍の沖縄本島上陸から、1972年5月15日の本土復帰まで、沖縄は日本本土から切り離され、米軍の統治下にあった。この冷戦下の時代、米国は基地優先の政策と土地収用を強行したため、住民の人権を軽視した事件や事故が数多く発生した。



### 5. 現在の沖縄と基地問題

日本にある米軍基地の74.3%が沖縄県に集中し、基地は約23,300ヘクタールと県面積の約10%を占めている。基地がもたらす航空機による騒音被害、事件や事故の発生、有害物質の流出など様々な問題が、県民生活や自然環境に大きな影響を及ぼしている。

米軍は「土地収用令」により、次々と土地を接収していった。

沖縄の問題は、私たち一人ひとりの問題でもあります。沖縄県民が強く求めている基地負担の軽減をきちんと受けとめ、考える一助になれば幸いです。